

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)	良くなる	競艇場（職員）	・ 8月中旬に女子レース、9月初旬にはG1競争があるので売上は確保できる。
	やや良くなる	スーパー（店長）	・ 異常気象でなければ、夏に向かって気温が上がり、物の動きが出てくる。
		スーパー（販売担当）	・ 店の売上は天候に左右される。気温の高い日は売上が伸びているので、猛暑の予報が出ている今夏は期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・ 気温上昇とともに、飲料や中食商品の動きが活発になり、景気はやや上向きになる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・ 米国大統領訪問や地元プロ野球チームの活躍などで当県が注目されていることが多く、引き続き県外客が増える。
		家電量販店（店長）	・ 客が前年に比べて減少している。
		乗用車販売店（業務担当）	・ 8月から新商品の投入が決まり、販売増加に期待できる。
		乗用車販売店（統括）	・ 7月より軽自動車の販売が可能となるので期待が持てる。
		一般レストラン（店長）	・ 8月は平和学習関連でのインバウンドや学生などが多く見込める月であり、目下のインバウンドの伸びが非常に良いので、ある程度期待できる。既に団体予約も前年以上に入ってきている。
		都市型ホテル（企画担当）	・ 英国のEU離脱問題により一時的な景気の停滞は予想されるが、足元では夏季の集客期間であり、高校総体などの大型イベントが開催されるので景気動向は良化する。
		通信会社（工事担当）	・ 客の様子からやや良くなる。
		通信会社（総務担当）	・ 新規契約が見込めるエリア開拓を行っており、販売量が増える見込みである。
		テーマパーク（業務担当）	・ 夏期休暇で集客時期になり、景気回復が見込める。
		住宅販売会社（営業担当）	・ 梅雨明けから販売量が伸びる。
	住宅販売会社（営業所長）	・ 当社が購入した土地は人気エリアなので、契約棟数が増加する見込みである。	
	変わらない	商店街（代表者）	・ 英国のEU離脱問題で騒がれているが、末端の商店街ではそんなに変化がない。景気回復感はないので、しばらくはこのままで推移していく。
		商店街（代表者）	・ 英国のEU離脱問題の影響やそれに伴う円高株安が心理的にもマイナス要素となり、2～3か月先の景気は今月同様に厳しい。
		商店街（代表者）	・ 客は余計なものを購入せず、引き続き財布のひもが固い。
		商店街（理事）	・ 商店街の空き店舗が増えつつあり、景気が良くなる要素がない。客の財布のひもが固い状況は続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・ 今後の予想がつかない。
百貨店（経理担当）		・ 前年より早く、7月1日よりクリアランスを開始するので、お中元商戦とともに売上増に取り組んでいく。ほかには大きく売上増につながる要素がなく、今の状況がまだ続きそうである。	
百貨店（営業担当）		・ クリアランスセールの前倒しは金額では大きいものの、売上総額が前年と変わらないため、このまま厳しい状況が続く。	
百貨店（営業担当）		・ 8月に大きなウエイトを占めるセール売上であるが、取引先の在庫圧縮によりセール商材が前年と比較してもかなり少なく、晩夏、秋物新商品を早期に立ち上げることが厳しい。	
百貨店（営業推進担当）		・ 円高、株価下落などの報道での心理的影響は大きい。また衣料品などの売上の回復が鈍く、今後も好材料がない。	
百貨店（売場担当）		・ 熊本地震の影響で秋物展示会の来場者数が少なく、専門店を中心に受注も少ない状況である。衣料品については夏物セールの動きが期待しにくい状況なので、しばらくは店頭が回復する様子はない。	
百貨店（購買担当）		・ アパレル業界では何がヒット商品になるかについて思案しており、展示会に行っても目新しいものがない。天候や今後の選挙で客が買い控えることは間違いないので、厳しい状況は続く。	
百貨店（人事担当）		・ 大手自動車メーカーの工場が再稼働するので、やや上向き傾向となるが、英国のEU離脱問題による影響も計り知れない。	
スーパー（総務担当）		・ 来客数が減少あるいは横ばい状態で、現状が続く。	
スーパー（業務開発担当）	・ これから暑さが増すと冷商材や関連商品の動きが良くなっていく。		

スーパー（営業システム担当）	・気温の上下が激しく天候が不順になり、主に青果ギフト商材が急遽販売休止になったりしているため、目立った利益上昇は見込めない。
スーパー（管理担当）	・必要な商品のみを買う客の傾向は変わらず、消費者マインドの改善はまだ見えてこない。
コンビニ（エリア担当）	・来客数を伸ばし、客単価を上げて売上を確保していく方針である。ただ英国のEU離脱問題もあり、その影響が地方にも波及して、悪い方向に行く可能性もある。
コンビニ（エリア担当）	・来客数は前年並みであるが、客単価が低下しており、この傾向は続く。
コンビニ（支店長）	・来客数は回復傾向である。
衣料品専門店（店長）	・紳士服業界で売上が伸びる要素はない。
家電量販店（店長）	・客の財布のひもは固く、なかなか購入に至らない状況が続く。
家電量販店（企画担当）	・良くなる理由が特にないので販売量は変わらない。
乗用車販売店（店長）	・経済状況は先行き不透明で客の動きは鈍く、良くて現状並みである。
乗用車販売店（営業担当）	・客それぞれの仕事で、現業維持か右肩下がりの話が多く聞かれる。株や為替の取引をしている客からも良い話は聞こえない。
乗用車販売店（営業担当）	・特別に売れる政策がない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・上向きへの要素が見当たらない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・国内経済は人口減少に比例しており、以前のような景気浮上とはならない。株価や為替レートに関係なく地方経済の景気は戻らないので、金融オペレーションを変えるしかない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・これからボーナスで客の購買意欲が向上してくる時期ではあるが、景気が不安定なため良くなる見込みがない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	・前年より予約状況は悪い。今後どのくらい伸びるかによるが、現在はまだ不明である。
一般レストラン（経営者）	・夏の賞与の期待が少ないため、節約志向の客が多くなる。
一般レストラン（経営者）	・参議院議員選挙の結果で少しは変化するが、あまり大きな期待はできない。
スナック（経営者）	・景気がこれから良くなる要素が何もない。
旅行代理店（営業担当）	・参議院議員選挙終了後に大きな潮流の変化は期待できず、世界情勢も不透明な状況が続く。
タクシー運転手	・参議院議員選挙があると客の出足が悪くなり動きが鈍るので景気回復の兆しもみられない。
タクシー運転手	・参議院議員選挙のときは売上が悪化する。
通信会社（社員）	・ボーナス時期であるが、販売量増につながる兆候がない。
通信会社（総務担当）	・英国のEU離脱の動きがあるものの、国内市場への影響は急激にはない。
通信会社（企画担当）	・既存メニューの値上げ案内を出したところ、現時点では客から解約など特別ネガティブな反応はない。
通信会社（販売企画担当）	・好調要因が見当たらない。
テーマパーク（管理担当）	・熊本地震後、九州地区からの集客が微減している。
ゴルフ場（営業担当）	・客の様子は今とあまり変わらないが、シーズンに入るため底上げになる。
美容室（経営者）	・単価を下げれば来客数は増えるが売上が伸びず、どのような施策をして良いか検討中である。景気が上向く様子はない。
美容室（経営者）	・景気がすぐ悪くなることはないが、ゆとりがなくなる不安がある。
美容室（経営者）	・アベノミクスの影響で大手の景気は良いかもしれないが、中小零細企業としてはまだまだ厳しい現状が続く。
設計事務所（経営者）	・来客数は変化しない。
設計事務所（経営者）	・好転材料がなく、インターネットによるショッピングが増えるなか、地元での発注がますます減少する。
設計事務所（経営者）	・金利が安く投資物件が動いているが、消費者は景気の動向を気にするため工事決断の動きが悪そうである。
設計事務所（経営者）	・消費税率は据置きが決まったものの、景気の先行き不安から、客は建築のような大型の購入を見合わせる。
住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げの延期が濃厚となり、しばらくは景気を左右する大きな話題がないため現状維持が続く。

やや悪くなる

商店街（代表者）	・7月半ばから観光シーズンに入るが、現在の円高、株安の状況が続くと売上増加は難しい。
商店街（代表者）	・バーゲンでも客は買わない。より安くよりタイムリーに購入する姿勢であるためデフレ傾向は続く。
一般小売店〔紙類〕（経営者）	・観光客数によって売上が変動するので安定しない。
一般小売店〔印章〕（経営者）	・英国のEU離脱問題で円高、株安の影響を受けて景気が悪くなる不安がある。
一般小売店〔食品〕（経営者）	・円高、株安の影響で企業収益の悪化が懸念され、大手自動車メーカーの燃費不正問題で関連企業の収益が悪化し、若干の販売量低下が懸念される。
百貨店（販売促進担当）	・円高、株安報道は美術品や貴金属など堅調であった富裕層の高額品購買にマイナス影響を及ぼすため、今後消費動向はマイナスに転じる可能性がある。
百貨店（売場担当）	・円高やアベノミクスの終焉等により株価の下落が続いている状況で、客の金の使い方が変わってくる。高額品は稀に売れるが、中心価格帯の状況が悪くなる。
スーパー（店長）	・英国のEU離脱問題など不安情勢があり、客の生活防衛が始まる。
スーパー（店長）	・地元企業の業績が先行き不透明で、そこで働く人々の消費意欲が冷え込んでいく。
スーパー（店長）	・景気が良くなる材料がない。
スーパー（店長）	・株安で経済的に不安定な雰囲気景気が景気に影響しそうである。
スーパー（店長）	・参議院議員選挙でギフト需要が落ち込むとともに、円高で影響の出る商品は価格競争が激しくなる。
スーパー（販売担当）	・客は必要な商品しか購入せず、少しでも貯蓄に回す傾向である。景気が良くなる要素はなく、来客数も減少していく。
衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響がある。
衣料品専門店（経営者）	・地方はなかなか景気が良ならず経済は大変である。
家電量販店（店長）	・客との話題で英国のEU離脱問題が出るが、なぜ日本に影響を及ぼすのかほとんど理解していないようである。マスメディアの報道で不況になる様子がうかがえる。
家電量販店（販売担当）	・オリンピック需要が起こる。
乗用車販売店（総務担当）	・ボーナス商戦に期待していたが、想定以下の販売状況で推移している。数か月先は半期決算の時期であるが、現状を考えると苦戦が予想できる。
その他専門店〔布地〕（経営者）	・地方の公務員が地方に合った活性化を考えない限り、地方活性化は無理である。
その他専門店〔海産物〕（経営者）	・旅行会社やバス会社からの情報では、当港の立寄客が増える状況ではない。
一般レストラン（外食事業担当）	・大手チェーン店が4店舗増えて初めての夏を迎える。狭いマーケットの中で客の分散化やすみ分けが激化すると考えられるので、売上は悪くなる。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・サービスエリア沿線の高速道路の交通量が減少しているため来客数が少ない。
観光型ホテル（宿泊担当）	・同業者からは昇給や賞与の話がほぼ聞かない。
観光型ホテル（営業担当）	・円高の影響でインパウンドの集客が落ち込む。
都市型ホテル（スタッフ）	・英国のEU離脱問題で、企業や団体客のマインドが悪化する。
都市型ホテル（企画担当）	・英国のEU離脱問題で株価が大幅に下落し、世界経済の先行き不透明感が強まっている。企業、個人共に消費の悪化が見込まれる。
都市型ホテル（総支配人）	・英国のEU離脱問題による円の急騰や株安などで先行きに不透明感があり、インパウンドの減少や国内需要の低下が懸念される。
旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響、日本の景気状況、燃費不正問題を起こした大手自動車メーカーの関連企業の存在など、あまりに悪い環境にある。
タクシー運転手	・参議院議員選挙の影響で飲み客が減少する。
通信会社（広報担当）	・客は常に安いものを求めており、新商品の販売時期ではあるが全く動きがない。逆に何かのタイミングで価格が下げれば突然販売数が増加し始める可能性もある。
通信会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題による影響が輸出産業に打撃を与えることで、市場環境が一気にマイナスに振れる。

		テーマパーク（営業担当）	・今夏は猛暑の予報が出ており、客が日中の外出を敬遠する。	
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税率引上げ延期に伴い、持ち家を検討していた客が先送りし、来場者数も減る。	
悪くなる		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・円高の影響が懸念される。	
		百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題の影響が心配である。	
		スーパー（販売担当）	・メーカーの希望小売価額が低下してきている。また店頭の商品ぞろえも低価格商品が増える傾向にあり、完全にデフレに戻っている。現時点では消費税率引上げの先送りがマイナスに働いている。	
		スーパー（財務担当）	・大手自動車メーカーの生産開始の予定は決定したが、下請企業等を含め、従業員の収入増加は見込めないため節約が続く。	
		自動車備品販売店（経営者）	・販売量が改善する要素はなく、期待も持てない。アベノミクスは大手企業中心の政策で、中小企業をより苦しめるものであり、地方での企業間格差は広がる一方である。昨今の世界の経済停滞でますます今後の先行きは不透明で、大手企業も沈没し、あまり良い未来は描けそうもない。	
企業動向 関連 (中国)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新車種が立ち上がり増産の可能性があるため忙しい状況は続く。	
	やや良くなる	広告代理店（営業担当）	・7月から販売促進を拡大進行する話題が多くあり、客獲得販売強化戦略での販売量の拡大が見込める。	
	変わらない		食料品製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題の動きによって変わるが、現状では変わらない。
			食料品製造業（総務担当）	・秋商戦の内容は不明であるが、前年並みの売上は確保する。
			窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼向け生産は現状水準が続き、建設案件の製造も継続するため多忙な状況が続く。
			鉄鋼業（総務担当）	・急な円高で、輸出関連企業の国内での活動水準などは当面先行き不透明な状況が継続する。
			非鉄金属製造業（業務担当）	・スマートフォンの新機種動きが本格化するが、短期間との情報もある。それ以外に好転情報もないので景気は変わらない。
			金属製品製造業（総務担当）	・ものづくり補助金の採択結果が発表されたが、予想より得意先の採択数が少ないので、受注量の増加は見込めず、現状の厳しい状態が続く。
			一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
			輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・受注量の減少傾向が気になるものの、大幅な減少とはならない見通しである。しかし英国のEU離脱問題による円高で、輸出競争力の低下が大いに懸念される。
			建設業（総務担当）	・対応が手いっぱい現状を考えれば、発注の遅れが好影響を及ぼす。
			輸送業（支店長）	・発送個数の伸びが非常に堅調で、今後も上昇傾向である。通信販売関係を中心に伸びる。
		通信業（営業企画担当）	・英国のEU離脱問題による製造業への影響が不明で、設備投資等の見直しによる景気減速のリスクがある。	
		不動産業（総務担当）	・賃貸物件の需要時期ではないため、あまり変わらない。	
	会計事務所（職員）	・飲食店や日用品関連の小売業は相変わらず業績が振るわない。これからの夏場商戦に期待するところであるが、英国のEU離脱問題の影響がどのような形で出るのか、不安な要素が多い。		
やや悪くなる		木材木製品製造業（経理部次長）	・英国のEU離脱問題により、円高や株価の下落で景気が冷え込み、客の購買意欲が低下する。	
		化学工業（経営者）	・中国経済の減速からの回復の兆しは不透明であり、また英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響は非常に大きい。景気後退感に対する不安がより一層増長し、直接的な影響も現状では不透明である。	
		化学工業（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響で先行き不安があり、内需は冷え込む。	
		鉄鋼業（総務担当）	・マイナス金利や英国のEU離脱問題がどう影響するのか注視が必要である。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響は計り知れない。現時点では景気にプラスになる要因はなく動向を注視していく。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・円高傾向にあり、海外向け商品を中心に受注が減少する。	
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・海運市況の悪化に加え、英国のEU離脱問題により先行きは一層不透明となり、キャンセルや納期延期なども増加する。	
		建設業（総務担当）	・英国のEU離脱問題で短期的にはマイナス傾向である。	

		輸送業（経理担当）	・真夏を控え、飲料などが堅調に動き出す時期であるが、今のところ天候の影響で動きが鈍く、今後も期待できない。
		輸送業（総務担当）	・景気は変わらないが、今後英国のEU離脱問題やスコットランド独立の動きなどが全世界に大きく影響する。
		通信業（営業担当）	・円高に歯止めがかからず、金融政策もおぼつかなく、景気が回復する見込みは当面ない。
		金融業（貸付担当）	・英国のEU離脱問題による円高株安の影響が出てくる。夏季ボーナスの支給は増加する見込であるが、個人消費を回復させるまでには至らない。消費税率引上げの延期は国内景気の足を鈍化させる一方、マイナス金利は影響が及ぶのに今しばらく時間を要する見込であることなどから、今後の景気はやや悪くなる。
		金融業（融資企画担当）	・英国のEU離脱問題による円高進展など、自動車販売を取り巻く環境は厳しくなり、自動車部品メーカーの受注は伸び悩む。
	悪くなる	農林水産業（従業者）	・海水温度の上昇が影響し、アジとサバの漁獲量と水揚げ金額の低迷が顕著である。沖合底引き網漁が資源保護の観点から5月末から8月15日まで休漁するので、しばらく港は寂しくなる。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・英国のEU離脱問題で、今後の世界経済の先行きは非常に不安定な要素を数多くはらんでいる。それに伴い景気の悪化は避けられない。
雇用 関連 (中国)	良くなる やや良くなる	-	-
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・求人数の大幅増加と求職者数の減少により、有効求人倍率は前年を上まわり直近で1.45倍、正社員の有効求人倍率も0.9倍まで回復しており、この状況はしばらく続く。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画担当）	・求職者数は順調に推移している。業界柄、需要と供給のバランスを見た運営が重要なため、一概に景気云々は言い難い。求人側と求職者側双方のニーズを今以上に把握し、コーディネートして深層でのマッチング推進が重要である。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・訪問先の企業からの情報では景気は変わらず、次年度の採用予定数もほぼ今年度並みである。ただし今後技術系の採用はますます競争の激化をたどることになり、企業間での争奪戦が予想される。文理男女別の内定獲得状況では、理系女子が55.7%と最も高い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・景況の様子見が当分続く。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題により、各社ともリスクヘッジを進めるため、雇用や投資を引き締める。
		人材派遣会社（支店長）	・英国のEU離脱問題の影響は円高へとつながっており、輸出入を行っている企業を中心に景気が悪くなる。
		人材派遣会社（支社長）	・景気の先行きの不透明さから、新規採用には慎重になる企業が多くなる。
		職業安定所（所長）	・医療福祉で慢性的な人手不足が続いている一方、前年に比べ新規学卒求人の出足が鈍いなど、多くの業種でこれまでのおう盛な求人意欲が薄らぎつつあり、求人全体でも今後は横ばいもしくは下降気味で推移していく。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・管内に大きな動きはないが、今後円高がどのような影響を及ぼすか危惧している。
	職業安定所（雇用開発担当）	・円高で自動車等の輸出に影響が出てくると、徐々に雇用にも影響が出てくる。	
	民間職業紹介機関（職員）	・英国のEU離脱問題の影響が出てくる。円高基調での輸出メーカーの苦戦や株価低迷による更なる投資意欲減退などが懸念される。	
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・大手自動車メーカーの燃費不正問題とともに天候に大きく左右される状況なので、当県としてはマイナス要素が大きい。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・英国のEU離脱問題から経済の先行きに不安がある。	
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	・英国のEU離脱問題の影響で景気はより悪くなる。	
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大手自動車メーカーの工場の生産停止による雇用不安や協力企業の受注不安などがあり、消費マインドは低迷している。また円高や株価の下落基調に追い打ちをかけるように英国のEU離脱問題などのマイナス要因が多々あり、プラスに転ずる見通しが立たない。